

シンポジウム38

成長期女性アスリートへの提言

【スポーツ医科学コンソーシアム合同企画】

日時	2026年9月13日(日) 13:30～15:00
会場	第6会場（3F 中会議室302）
座長	大森 豪（新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター） 吉原 弘祐（新潟大学医歯学総合病院 産婦人科）
単位	日本産科婦人科学会：領域講習単位

セッション概要

成長期女性アスリートの骨健康を主題に、女性ホルモンと最大骨量の獲得、小児骨折や疲労骨折の疫学、朝食欠食など栄養面の課題、三主徴やREDsに対する多職種連携支援までを扱い、新潟での支援体制を例に早期発見と一次予防の実践と課題を共有するセッションである。

演題プログラム

3-SY38-1	成長期女性とホルモン 吉原 弘祐（新潟大学医歯学総合病院 産婦人科）
3-SY38-2	女性ホルモンと骨の関係について 工藤 梨沙（新潟大学医歯学総合病院 総合研修部） エストロゲンが骨端線の閉鎖と骨形成に果たす役割を整理し、無月経など月経異常が最大骨量の獲得を妨げる機序を概説する。
3-SY38-3	スポーツ現場における小児骨折と疲労骨折ー 骨のライフコースを見据えた早期発見と一次予防 ー 望月 友晴（新潟大学医学部整形外科） 新潟市の20年間の学校災害統計から学童期骨折の増加と性差の変化を示し、女性アスリート外来と一次予防体制を紹介する。
3-SY38-4	成長期女性アスリートの課題と栄養管理 -実践的対応- 稲葉 洋美（新潟医療福祉大学 健康栄養学科） 朝食欠食や不適切な減量という課題を新潟県的女子高校生調査から示し、エネルギー不足を防ぐ食事・補食指導を述べる。
3-SY38-5	三主徴の支援と新潟の多職種連携モデル 江玉 睦明（新潟医療福祉大学） 女性アスリート検診と外来を軸とした新潟の多職種連携体制を示し、ビタミンDやREMSなど三主徴関連研究を紹介する。